

郡上農林事務所の普及活動状況 令和7年4月30日現在

今月の重点活動

■夏秋トマト 郡上夏秋トマト部会設立

4月23日、郡上夏秋トマト部会設立に伴う総会が開催され、生産者他関係者ら40名が出席した。

これまで郡上市内には2つのトマト生産組織（奥美濃トマト生産組合、郡上南部夏秋トマト部会）があったが、効率的な部会運営と組織強化に向けて統合し、意識を新たにした。

新部長から「部会役員をはじめ、部会員、JA、関係者と一丸となり、栽培面積および販売量の目標達成に向けて努力していく」と意気込みが示された。

農業普及課は、新規就農者を重点活動対象に位置付けると共に、トマト生産者が安定出荷できるよう支援を継続する。



【トマト部会総会の様子】

郡上の農業・農村を支える人材育成

■関係機関との連携 郡上営農連絡会議を開催

4月16日、今年度第1回目の郡上営農連絡会議を開催した。

この会議は、市・JA・農業共済・農林事務所（農業振興課、農業普及課）等の関係機関が参集し、郡上地域の農業に関連する情報共有と課題解決を目的に開催している。

今回は、各機関から新体制の紹介と今年度の事業計画等を説明し、新規就農者・スマート農業・農福連携・有機農業等の重点施策について、関係機関で情報共有を行った。

今後、農業普及課は、事務局としてこの会議を2カ月に1回程度開催し、関係機関と連携して郡上地域の農業振興を図っていく。



【営農連絡会議の様子】

郡上農畜水産物のブランド展開

■郡上南天 休耕地を再利用

郡上市は国内でも数少ない南天産地のひとつであり、市場からは安定的な出荷を求められている。

そのため郡上八幡南天生産組合では、高齢化で管理が出来なくなった南天圃場を活用するため、後継管理者を募集している。

4月9日、郡上市大和町の圃場で、新規組合員に対し剪定講習会が開催された。

休耕地の現在の状況を確認、生産組合役員から株の状態に合わせた剪定、管理方法について実技を交えて説明が行われた。

農業普及課では、管理が出来なくなった南天圃場と後継管理者のマッチングをとおして、産地の維持を支援していく。



【剪定方法実演の様子】